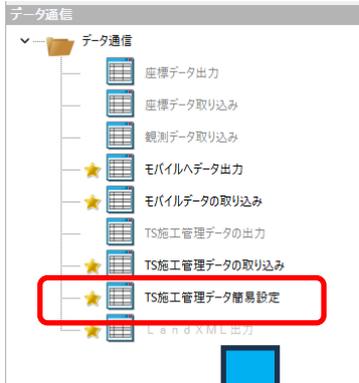




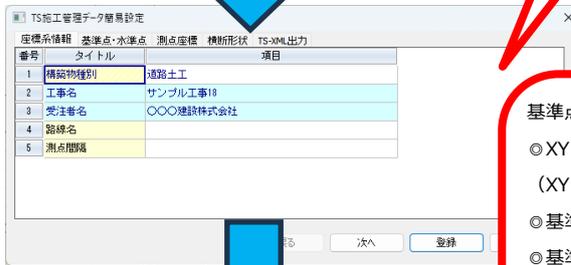
〔 1 〕 TS 施工データ簡易作成機能の追加。

簡易型 ICT 活用工事の一環として、距離の短い簡易的な TS 施工データの作成に特化した機能。



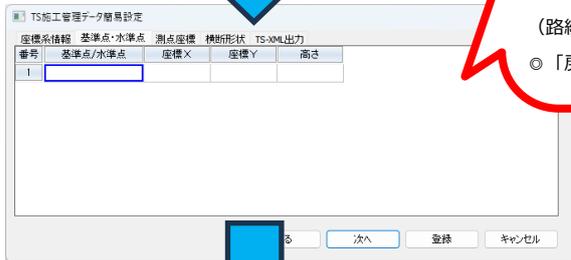
座標系情報入力画面：

- ◎ 「構築物種別」は「道路土工」か「河川海岸砂防土工」を選択。
- ◎ 「工事名」「受注者名」は台帳タイトルより取得。(編集不可)
- ◎ 「路線名」「測点間隔」のみ必須入力。
(※未入力でも画面移動は可能)
- ◎ 「次へ」ボタンで「基準点・水準点」画面に移動。
(※画面上部のタブ操作でも可能)
- ◎ 「登録」ボタンで画面入力内容の保存。
(※土木測量データへの保存ではないことに注意)
- ◎ 「キャンセル」ボタンで「保存せずに終了」。



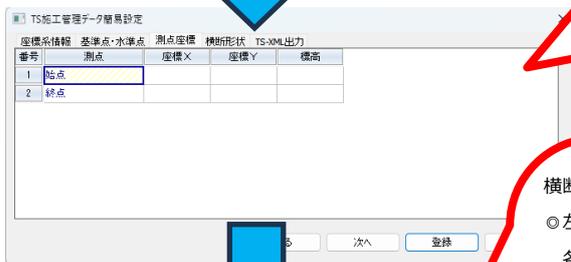
基準点・水準点入力画面：

- ◎ XY 座標入力で基準点、高さを入力することで水準点に振り分け。
(XY 座標と高さの両方入力で、基準点と水準点の両方に設定)
 - ◎ 基準点/水準点種類は「4 級基準点」、「4 級水準点」固定。
 - ◎ 基準点・水準点は何件でも入力可能。
- また、未入力でも土木測量への書き出し及び TS 施工管理 XML の出力は可能。
(路線の始点終点座標が基準点水準点に設定されるため)
- ◎ 「戻る」ボタンで前の「座標系情報」画面に移動。



測点座標入力画面：

- ◎ 路線平面線形の始点・終点座標を入力。
(XY 座標で平面線形、標高で縦断線形を自動算出)
- ◎ 始点・終点座標は上記の通り、基準点・水準点にも出力される。
- ◎ 測点の「始点」「終点」は変更不可。カーブ要素等の入力も不可。
プレーキ要素も無し。



横断形状入力画面：

- ◎ 左右 2 点で横断形状を設定。始点と終点で同一形状とするので
各測点毎の入力は無し。
- ◎ 入力は「幅」(水平距離)、「比高」(前構成点との高さの差)のみ。
- ◎ センターは路線センターの座標で算出。(CL 離れオフセット無し)
- ◎ 左①、右①は「道路面」、左②、右②は「法面」となる。
- ◎ 左側のみ、右側のみ形状入力可能。また、左②、右②のみの入力も可能。
(当然、左①、右①のみも可能)
- ◎ 各構成点の高さの差で「盛土工」か「切削工」かを自動判定。
(センターと左①や右①(道路面)の場合は「盛土工」のみ設定)
- ◎ 横断図表示チェックを入れると横断図が表示される。
(測点座標未入力の場合は表示されない。また、測点座標が入力済みでも
横断形状が未入力だと表示されない。)



TS施工管理データ簡易設定

座標系情報 基準点・水準点 測点座標 横断形状 TS-XML出力

| 番号 | タイトル | 項目 |
|----|-------|-------------------------|
| 1 | ファイル名 | |
| 2 | 構築物種別 | 道路土工 |
| 3 | 工事名 | サンプル工事18 |
| 4 | 受注者名 | 〇〇建設株式会社 |
| 5 | 路線名 | |
| 6 | 測点間隔 | |
| 7 | 状態 | 始点・終点座標のどちらかが設定されていません。 |

戻る XML出力

TS施工管理データ簡易設定

座標系情報 基準点・水準点 測点座標 横断形状 TS-XML出力

| 番号 | タイトル | 項目 |
|----|-------|--|
| 1 | ファイル名 | test1.XML (E:\Work2\TS出来形\TS出来形\XML\20230... |
| 2 | 構築物種別 | 道路土工 |
| 3 | 工事名 | サンプル工事18 |
| 4 | 受注者名 | 〇〇建設株式会社 |
| 5 | 路線名 | TEST |
| 6 | 測点間隔 | 20 |
| 7 | 状態 | ※ 基/水準点に始点、終点座標が設定されます。 |

戻る XML出力 土木測量に反映

TS-XML 出力画面：

- ◎ 「ファイル名」 ボタンで出力する TS 施工管理データ XML ファイルを選択。
- ◎ 「状態」 に出力できない理由を表示。
(※基準点・水準点未入力時は、始点終点座標が設定される旨のメッセージ)
- ◎ 「XML 出力」 ボタン押下で
土木測量に新規タイトル生成～路線縦断横断データ出力～TS 施工管理データ生成～出来形管理対象自動設定～TS 施工管理データ XML 出力を行う。
- ◎ 「土木測量に反映」 ボタン押下では上記プロセスのうち「XML 出力」だけが行われない。
- ◎ 「終了」 ボタン押下で入力内容を保存して処理終了となる。